

大項目	中項目	No.	小項目	内容	重要度	対応区分		備考	
						対応状況	カスタマイズ費 (単位:円)		
基本要件	機能基本	1	利用機器	焼津市の庁内LANの庁内設置LGVAN端末(LGVAN環境利用が望ましいが仮想ブラウザでも可(セキュリティ対策必須))とインターネットに接続されたPC、スマートフォン、タブレットなどの端末から利用ができること。	◎				
		2	利用機器	焼津市の庁内LAN(LGVAN環境(仮想ブラウザでも可))設置端末(PC)から情報の閲覧・更新、システム内利用ユーザー管理(権限設定、ログイン記録)ができること。	◎				
		3	利用機器	LGVAN環境以外でインターネットに接続されたPC端末及びスマートフォン、タブレット端末から情報の登録(被災情報、避難所情報や要望事項等)、閲覧・更新などの利用ができること。	◎				
		4	利用機器	LGVAN接続の端末でアクセス可能な情報とインターネット接続の端末でアクセス可能な情報をそれぞれ指定できること。(インターネット接続の端末からアクセスできない情報を設定できること。)	○				
		5	ウェブブラウザ	既存のウェブブラウザ(edge10.3以降など)からシステムにアクセスできること。なお、基本のウェブブラウザは、Edgeとする。	◎				
		6	アクセス	特別なソフトウェアをインストールすることなく利用できること。ただし、管理画面についてはこの限りではない。	◎				
		7	アクセス	インターネットに接続されたPC端末(LGVAN端末以外)及びスマートフォン、タブレット端末には、機能の制限ができること。(市の指定する個人情報などの情報をインターネット接続端末へ送信しないなどの対策を図ること)	○				
		8	ファイル管理	地図上の情報に各種ファイル(文書、画像、表など)を関連付けて保存し、閲覧、編集、削除などができること。	◎				
		9	掲示板機能	災害時の共有事項等を、掲示板機能等で投稿表示できること	◎				
		10	属性情報の追加	各レイヤーの属性情報について、市職員が属性項目の追加などの変更ができること。	◎				
		11	アドレスマッチング機能	住所データから地図上の座標情報を取得し、地図上に情報登録ができること。	◎				
		12	座標情報の出力	地図上の指定した位置の緯度経度を座標情報で参照可能なこと。	◎				
		13	レイヤーデータの登録	市職員により、シェイプ形式やCSV形式、KML形式などの一般的なデータからレイヤーの登録や更新が可能なこと。	◎				
		14	レイヤーデータの出力	市職員により、登録済みの各種レイヤーデータが、シェイプ形式やCSV形式など一般的なデータ形式で出力ができること。(座標情報出力も含む)	◎				
		15	他システムとの連携	スマートシティAIZU、データ連携基盤へ、防災情報(避難発令場所・対象者(年齢)、避難所開設・避難者数等)、アンダーパス情報、雨量計・河川水位計、気象庁観測データ、道路規制情報等を自動で定期的に吐き出すこと。また、警報、注意報、避難情報等 災害発生に伴う情報は発生時に吐き出しを行うこと、防災メール発信のタイミングはコントロールできること。	◎				
		16		FUJISANシステムと情報連携できる事	○				
		17	GIS連携	QGISと連携できること	○				
		18	認証	システムにログインする際は、ID及びパスワード認証を必要とすること。	◎				
		19	ユーザー権限の設定	ユーザーごとに利用できる権限を設定できること。(表示・更新・削除など。ユーザーごとに参照、更新可能な情報の制限など)	◎				
		20	ユーザー管理	市職員がユーザー情報(ID・パスワード等)の登録・削除・変更ができること。	◎				
		21	ID作成	市職員がログインID及びパスワードの作成ができること。	◎				
ポータル機能	情報の表示	22	被害状況及び対応状況を一覧表、グラフ形式等で俯瞰でき、意思決定の際必要となる情報を統括、集計できる機能があること	◎					
		23	情報の出力	防災監視情報(雨量、水位等)、被害状況及び対応状況をファイルに出力できること	◎				
		24	防災ポータルサイト	災害・防災情報を、インターネットを通じて一般に公開できる。災害時の集中アクセスに対する対策が取れている防災ポータルサイトが作成できること。	◎				
市民公開機能	市民公開(防災ポータルサイト)	25	公開する情報	災害・防災情報を、インターネットを通じて、一般に公開できること。(住民情報など市が公開しないと指定した情報は除く)	◎				
		26	公開情報の制御	市民公開する情報は、本市が指定した情報のみ公開することが可能なこと。(非公開とした属性などを公開しない制御が可能なこと)	◎				
		27	避難情報の公開	高齢者等避難や避難指示などの避難情報の発令区域と発令内容を公開できること。	◎				
		28	開設中の避難所情報の公開	開設中の避難所情報を市民が、詳細情報を確認できる市民公開機能を有すること。	◎				
		29	道路規制情報の公開	通行止めなどの道路規制情報を、市民に公開できること。	◎				
		30	雨量計・河川水位計	市の指定する雨量計・河川水位計の位置と観測情報を市民に公開できること。	◎				
		31	閲覧環境	公開された情報は、ウェブブラウザにおいて表示可能なこと。	◎				
		32	情報の更新	市民公開サイトは手入力でも修正・変更ができること。	○				
		33	関連サイトとの連携	スマートシティAIZU 防災情報サービス(地図ダッシュボード等)および焼津市公式ホームページと連動した表示ができること	◎				
		34	操作マニュアル	市民公開機能に関する市民向けのマニュアルを作成し、公開できること。	◎				
		防災情報監視機能	地図連携表示	35	背景地図	背景地図には、地形図など(国土地理院地図、GoogleMap等)を使用すること	◎		
				36	航空写真	本市が提供する航空写真データを使用し、地図に重ねて表示できること。	○		
				37	ハザードマップ等の表示	市が提供する各種地図、ハザードマップ関連情報等が表示できること。	◎		
				38	被害情報	被害情報(通報受付、被害状況、対応ステータス(指示、報告等))が地図上にアイコンで表示・管理できること。また、被害の位置や内容などの登録・編集が可能なこと。	◎		
39	道路規制情報(手入力)			市職員が入力した道路規制情報を、ポイントや規制区間などを地図上に表示し、クリックすると詳細情報が確認できること。	◎				
40	道路規制情報(システム連携)			静岡県道路通行規制情報管理システムから取り込んだ道路規制情報を、ポイントや規制区間などを地図上に表示し、クリックすると詳細情報が確認できること。	○				
41	ピンポイント情報の表示			ハザードマップ情報などのメッシュ情報については、地図上でクリックして指定したピンポイントでの詳細情報を表示できること。(想定浸水深などで指定したポイントでの浸水深が表示されるなど)	◎				
42	気象情報、緊急情報等の表示			外部(気象庁、ウェザーニュース等)提供、手動入力される防災・予測気象情報、緊急情報を表示できること。(天候、気温、警報、注意報、雨量レーダー、土砂災害危険度、緊急地震速報 など)	◎				
43	雨量計・河川水位計の表示			雨量計・河川水位計の位置を地図上で表示し、クリックすると本市、静岡県、国の提供する観測データと連携(自動、手動入力)し、その観測データが時系列で確認できること。また、それぞれ専用のアイコンで表示、通知し、その観測値(実績累積値)、予測値に応じ、色を変えるなどで雨量や水位のレベルが判別できること。	◎				
44	アンダーパスセンサーの表示			アンダーパスセンサーの位置、状況を地図上で表示できること。また、専用のアイコンで表示し、その状態に応じ、色を変えるなどで判別できること。	△				
45	水防監視カメラ情報の表示			水防監視カメラの位置を地図上で表示し、クリックすると本市、静岡県、国の提供する水防監視カメラの映像が確認できること。	◎				
46				気象庁観測データ システムとリアルタイムに必要な情報を自動データ連携できる事	◎				
47				J-alertシステムとリアルタイムに必要な情報を自動データ連携できる事	△				
48				ウェザーニュースシステム(ウェザーニュース)とリアルタイムに必要な情報を自動データ連携できる事	◎				
49	関連システムとの連携	水防災オープンデータ配信システムとリアルタイムに必要な情報を自動データ連携できる事	◎						
50		ふじのくにオープンデータ システムとリアルタイムに必要な情報を自動データ連携できる事	◎						
51		静岡県道路通行規制情報管理システムとリアルタイムに必要な情報を自動データ連携できる事	○						
52		焼津市アンダーパスシステムとリアルタイムに必要な情報を自動データ連携できる事	△						
53		水防監視システムとリアルタイムに必要な情報を自動データ連携、表示できる事	◎						
53		SNS(twitter、facebook、ヤフー防災等)へ必要な情報を一括配信できる事	○						
55	避難情報	高齢者等避難、避難指示などの発令エリアを地図上で点滅や色塗りなどを用いて表示すること。(発令エリアは、あらかじめ設定したエリア単位での発令とする)	◎						
地図操作	詳細表示	56	地図上に表示された各種アイコンをクリックすることにより、詳細情報が表示されること。	◎					
		57	表示の切り替え	マウスなどの操作により、拡大や縮小、位置の移動などが可能なこと。	◎				
		58	住所検索	地図上で住所検索が可能なこと。	◎				
		59	キーワード検索	地図上で、キーワードによる検索が可能なこと	◎				
		60	地図への描画	地図上に線、面などの図形を描画、コメントの入力ができること。	◎				
		61	地図印刷	指定した範囲の地図を印刷できること。	◎				
リンク機能	リンク機能	62	リンク機能	関連サイトから情報収集支援ができること	◎				

大項目	中項目	No.	小項目	内容	重要度	対応区分		備考	
						対応状況	カスタマイズ費 (単位:円)		
災害(被害)情報(通報受付、被害状況、対応ステータス(指示、報告等))管理機能	災害名管理	63	災害名の登録	災害名を自由に登録できること	◎				
		64	災害名管理	災害名ごとに情報を区分し管理できること。	◎				
	被害報告の管理	65	被害報告の管理	被害情報には、登録日時、登録ユーザー、被害種別、被害内容などを登録、編集、参照ができること。	◎				
		66	被害報告の管理	被害情報には、画像(写真や動画)や文書などの各種ファイルを添付できること。	◎				
		67	ナンバリング	登録した被害情報は、自動的にナンバリングされること。	◎				
		68	被害区分	被害情報には、人的被害、住家被害、道路被害などの被害種別ごとに区分を付加できること。	◎				
		69	被害報告	LGWAN・インターネットに接続された端末から、被害情報の登録ができること。(テキスト・画像・その他各種文書ファイル等)	◎				
		70	対応状況	被害情報に対する対応状況を登録、編集、参照ができること	◎				
		71	被害報告一覧の表示	被害報告を一覧表示できること。また、並べ替え、検索機能を有すること。	◎				
	一覧表示	72	被害報告の時系列管理	被害報告を時系列で管理、把握表示できること。	◎				
		73	被害報告一覧の出力	被害報告一覧をファイル出力や印刷ができること。	◎				
		74	タイムライン管理機能	タイムライン機能を用い、災害対策対応の行動計画書が、作成共有できること	◎				
	避難所・救護所等情報管理	基本機能	75	基本情報の登録	避難所等の基本情報(施設名、住所、電話番号、受け入れ可能人数)を登録できること。	◎			
			76	避難所区分	避難所等の区分(指定避難所、福祉避難所、救護所など)ごとに管理できること。	◎			
77			開設状況	避難所の開設状況を登録できること。	◎				
78			避難所一覧の表示	避難所名、開設状況、避難者数などを一覧で表示できること。またその一覧の並べ替え、検索ができること。	◎				
79			避難所一覧の出力	避難所一覧を外部ファイル出力や印刷で出力できること。	◎				
情報共有・管理		80	運営方法登録	避難所からインターネットに接続されたPCやスマートフォン、タブレット端末で開設状況などを登録できること。	◎				
		81	避難者情報登録	避難所担当者が避難所(LGWANまたはインターネット接続端末)から避難者世帯数、避難者数などを登録できること。	◎				
		82	メッセージの登録	災害対策本部と避難所等間でメッセージの送受信ができること。	◎				
		83	物資要請機能	避難所等から不足物資の情報を災害対策本部に報告できること。	◎				
		84	コミュニケーション結果の一覧表示	運営報告、物資要請、メッセージ等のコミュニケーション結果を一覧表示できること。また、その並べ替え、検索ができること。	◎				
		85	避難所情報の共有	避難所等の集計機能(避難世帯、避難人数、性別、年齢、要配慮者、けが人、体調不良者)。なお、項目については追加・変更ができること。	◎				
		86	避難情報等発令支援機能	避難情報(避難指示/高齢者等避難)等の発令に際し、発令区域の登録、対象者等の管理ができること	◎				
地図表示		87	地図表示	各避難所を地図上に表示できること。	◎				
		88	アイコン表示	避難所(指定避難所、福祉避難所など)や救護所などの種別ごとに異なるアイコンで表示できること。	◎				
	89	開設状況ごとの表示	避難所等の開設状況も地図上の表示で把握できること。	◎					
備蓄・救助物資管理機能	基本機能	90	備蓄・救助物資の在庫管理	避難所や救護所、防災倉庫にある防災資器材の情報(物資名、数量、消費期限など)を管理できること。	◎				
		91	備蓄・救助物資の消費期限管理	備蓄・救助物資品の消費期限により、物資を検索できること。	◎				
		92	備蓄・救助物資品の一覧表示	各施設ごとの備蓄・救助物資品の情報を一覧で表示できること。また、並べ替えや検索ができること。	◎				
		93	備蓄・救助物資品一覧の出力	備蓄・救助物資品一覧を外部ファイルで出力できること。	◎				
道路等損傷通報	基本要件	94	通報機能	LGWAN接続、インターネット接続の端末から道路等の損傷情報などを報告できること。また、報告された情報は、報告者が指定したレイヤーに表示されること。	◎				
		95	対応管理	通報された情報についての対応状況を入力できること。(対応完了、対応日、対応状況、備考など)	◎				
		96	一覧表示	通報された情報を、一覧表示できること。また、並べ替えや検索ができること。	◎				
		97	一覧の出力	通報された情報を外部ファイルで出力できること。	◎				